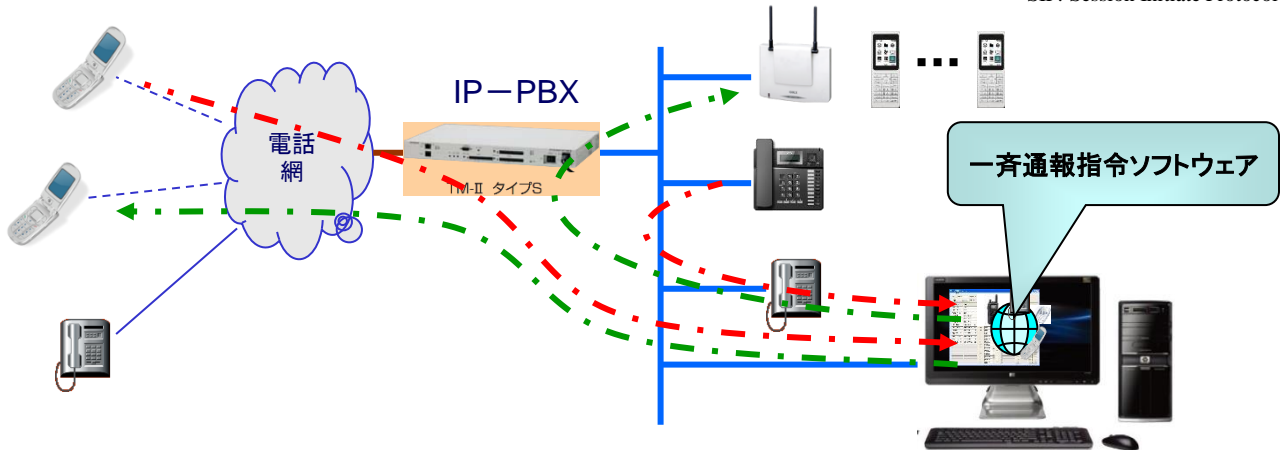


SIP内線拡張型高機能会議システム 一斉通報指令ソフトウェア

IP-PBXのSIP内線として接続することで、複数の相手に一斉発信し、会議通話を行います

SIP: Session Initiate Protocol



IP-PBXのSIP内線として動作するソフトウェアで、複数回線の発着信制御を行い、複数回線での会議通話を行うことで、音声による情報交換を迅速に行うことを可能にします。

接続先毎に音声のミキシング状態をコントロールできるため、接続先によっては送話のみとするか、または接続先からの音声は指令者のみで聞くようにすることで、会議通話の音声混乱しないように設定することができます。受話のみの接続先でもPB信号の操作によって発言のON、OFFを切り替えることができますので、必要に応じて発言することができます。

IP-PBXの通信インフラをベースに音声接続を行ないますので、IP内線だけでなく、電話番号で接続できる場所であれば、既存の電話設備や別拠点の内線、外線にも接続することができます。またIP-PBXの内線端末に放送設備や無線機のアダプタ(別売)を接続することで、電話・無線・放送の多角的な接続が可能になります。

IPベースの放送アダプタなど、送話のみの端末が多い場合、同報オプションを追加することでより多くの端末を接続することが出来ます。

一斉通報指令を開始する場合、PC端末を操作して開始する方法と、外部から電話をかけて、PB信号による認証操作後に開始する方法があります。

一斉指令の接続先に対し、通話の開始、終了時に音声アナウンス(チャイムなど)を流すことができます。このアナウンスは8種類までのパターンを登録でき、指令先毎に選択することが出来ます。

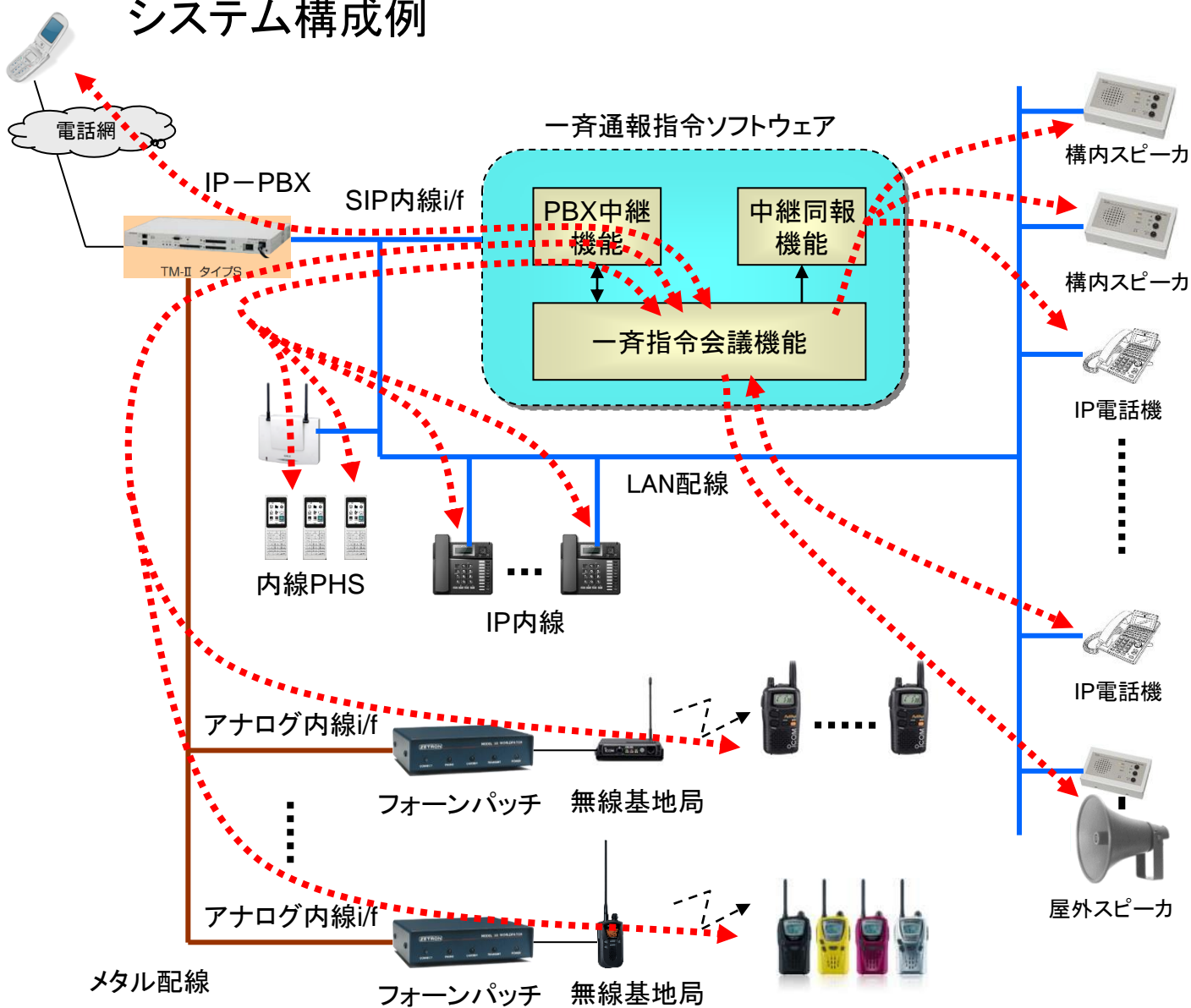
指令先は事前に複数種類を登録することができ、端末画面の操作で切替ることや、指令者からの着信電話番号によって切替ることが可能です。

一斉指令中の音声を保存用として録音することができます。またオプションとして、この音声を外部に公開するための音声として保存し、音声サービスとして外線から電話をかけて聞く機能も用意しています。

特長:

誰でも使える『電話』をベースにした、簡単・確実・安全・堅牢な通信ソリューションです。本来1対1の通信手段である電話を、IP内線経由で複数同時に接続し、音声をミキシングすることによって、複数の相手と同時にコミュニケーションを行なうことができるようになり、緊急時の情報収集を迅速に行うことができます。

システム構成例



仕様

品名	備考	(注)
LEGASiP-NT TypeSS	一斉指令先=10、同報先=10	稼働させるPCの要求スペックについては個別に御相談下さい
LEGASiP-NT TypeS	一斉指令先=20、同報先=20	
LEGASiP-NT TypeM	一斉指令先=50、同報先=20	
LEGASiP-NT TypeL	一斉指令先=100、同報先=20	
同報追加オプションTypeSS	同報先=10	
同報追加オプションTypeS	同報先=20	
同報追加オプションTypeM	同報先=50	
同報追加オプションTypeL	同報先=100	
公開用録音・再生オプション	再生用オプションは、同時着信ライン数として1~99ラインが選択可能です	

お問合せ:

2013.09